

## 事業報告書（令和7年度）

事業名 映像制作および演劇発表「おもい・つなぐ・むすぶ part3」  
「PTA と地域の未来を考えるフォーラムシアター」

団体名 劇団公民館☆京山 担当者名 大山 央子

※活動の様子がわかる写真と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、講師、参加対象者、人数、内容等）
<p>日時：令和8年1月25日(日) 10:00～13:00</p> <p>場所：岡山市立京山公民館 2階第1第2講義室</p> <p>参加対象者：劇団員・ボランティア高校生（約20人）、地域の方々（約50人）</p> <p>内容：第21回岡山市京山地区ESD・SDGsフェスティバルにて演劇発表 『PTA と地域の未来を考えるフォーラムシアター』</p> <p>演劇で考え、問題を共有し、討論する手法である「フォーラムシアター」を通してみんなで地域の未来を考える時間を作る。</p> <p>ファシリテーター：大岩主弥 (俳優・グローバルドラマファシリテーター・京山中学校PTA会長)</p> <p>○上記演劇の記録映像制作(協カムービー京山) 京山公民館にて上映会(時期未定)</p> <p>出演者・参加者に配布予定</p>
2. ESDの視点
<p>①事業を通じて、参加者にどのような気づきや意識・行動の変容があったか</p> <p>PTAを題材にしたフォーラムシアターを演じる中で、参加者は登場人物の立場に立って考えたり、場面を止めて意見を出し合ったりすることでこれまで【他人事】として捉えていた課題を【自分事】として考えるようになった。また、正解が一つではないことや、多様な考えがあることに気づき、相手の思いや背景を想像しながら対話する姿勢が育まれた。</p>
<p>②どのように学び合いを取り入れたか</p> <p>フォーラムシアターの登場人物の立場に立って場面を考え、意見を出し合うことで、児童・保護者・教員など、異なる立場の思いや背景を知り、互いの考えを学びあう機会が生まれた。多様な考えや感じ方を共有することで課題を自分ごととして捉え、相互理解を深めることができた。演じる・止める・話し合う、というプロセスを通して、気づきを深め、互いの考えを認め合う関係を作った。</p>
<p>③どのような学びと実践を結び付ける工夫を行ったか</p>

(様式第 8 号)

地域の方々、市長や学生に観てもらい、感想や意見を求めた。演劇題材も他団体からの想いを形にすることで実践できた。練習での成果をお客様に観ていただけて、たくさんの拍手やお褒めの言葉を頂けたことが子供たちの大きな自信へつながったと感じた。フェスティバル内の別企画にも積極的な参加ができた。

3. 取組の成果（事業計画書に記載した事業の目的・目標をどのように達成できたか。事業を実施してどのような成果があったか。）

地域コミュニティとしての京山公民館と連携して舞台作品を創ることで、地域の方々など、参加者とも人間関係の構築ができ、多様な世代が交流する機会が得られた。また、参加者からは感想文の提出、地域の方々からは感想をいただいた

4. 今後の課題と展望（事業がどのように岡山地域の ESD の取組と持続可能な社会づくりの発展・継続につながるか）

本事業で得られた学びや気づきを一過性のものにせず、継続的な実践へとつなげていくことが今度の課題である。また、参加者個人の学びを PTA 活動や地域全体へ広げていく仕組みづくりが求められる。

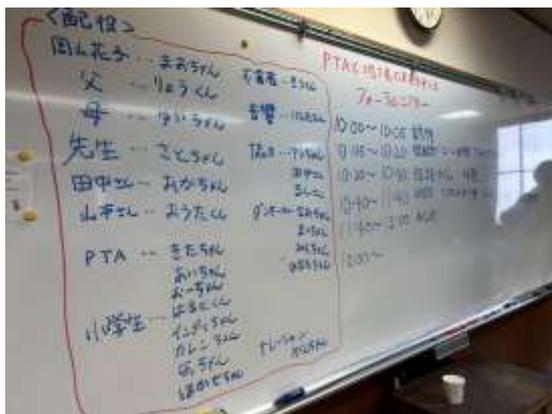
今後は、フォーラムシアターを通して育まれた対話力や主体性を PTA 活動や地域の取り組みに生かし、学びと実践の循環を図っていききたい。小さな実践を積み重ね、振り返りと共有を行うことで、次世代につながる持続的な取り組みへと発展させていく。

本事業は、身近な地域課題を題材に、自ら考え行動する力を育む点で、岡山市が推進する ESD の理念と合致している。事業の継続・発展を通して、持続可能な社会づくりと岡山市における ESD の取り組みの深化に寄与することが期待できる。

【活動写真】



(様式第8号)



(様式第 8 号)

